

令和5年度第1回障害保健福祉施策連絡会会議録

1 開催日時

令和5年6月21日（水） 午前9時30分から午前11時まで

2 開催方法

Z o o mによるオンラインと対面でのハイブリット開催

3 出席状況

（出席）

浜松市浜松手をつなぐ育成会 小田史子・伊藤幸枝・小出隆司

特定非営利活動法人浜松地区肢体不自由児親の会 里あゆ子

浜松市視覚障害者福祉協会 赤堀奈津子・磯部有子

浜松の福祉を考える会 小田木一真、矢島利充、村松良子

浜松ろうあ協会 大石博子・伊藤行夫

ぞうさんの会 清水恵美・増井けさみ

浜松市障がい者基幹相談支援センター 雨宮寛

（欠席）

特定非営利活動法人浜松地区精神保健福祉会 明生会

アクティブ

浜松市浜北手をつなぐ育成会

天竜川地域精神保健福祉会 若杉会

浜松市身体障害者福祉協議会

（事務局 障害保健福祉課）

久保田課長、柴田主幹、河合主幹、宮本副主幹

大庭副主幹、岡田副主幹、中田主任、青柳主任、大平

4 議事内容

（1）浜松市障がい福祉に関するアンケートの調査報告について

（2）次期障がい者計画、障がい者福祉実施計画、障がい児福祉実施計画について

（3）その他

5 記録の方法

発言者の要点記録

6 会議記録

1 開会

2 議事

(1) 浜松市障がい福祉に関するアンケートの調査報告について

(2) 次期障がい者計画、障がい者福祉実施計画、障がい児福祉実施計画について

事務局・宮本が資料を基に説明

<浜松ろうあ協会 伊藤>

手話言語の推進に関する条例についての設問がアンケートに含まれていたか、また、アンケートの対象者に障がい者が含まれていたか。

<事務局 久保田>

手話言語の促進に関する条例についての設問はあり、アンケート結果をもとに今後の計画について考えていく。今回のアンケートは、市民全体ではなく障がい者を対象としたものである。

<浜松の福祉を考える会 村松>

アンケートについて、福祉サービスを受けている方を対象にという説明があったが、70代、80代の回答が多く、その方たちは福祉サービスを受けているということで良いか。

65歳以上の方は、介護保険のサービスを受けるのが主になっていると聞いており、70歳以上の方の意見が多くあると、アンケート結果が変わってきてしまうように思うが、そこに関してどう考えているか。

今回のアンケート回答者の比率を見るととても偏ったものになってしまっていると感じており、当事者の声を適切に吸い上げられるようにしていただきたい。

<事務局 久保田>

今回は、障害者手帳保持者及び福祉サービス受給者より無作為抽出して行ったアンケートである。計画策定にあたっては、アンケートの結果のみならず、多様な方面からの意見を受けて考えていく予定である。

今後、素案や計画案を送付する予定であり、それを受けて会員の方々から集約した意見を、当事者部会にて発言していただきたい。

<浜松の福祉を考える会 矢島>

計画案の作成者に当事者が含まれているか。当事者の事は当事者が一番わかっているため、当事者部会における当事者の意見、声などをきちんと反映させた計画の作成をしていただきたい。

<浜松市浜松手をつなぐ育成会 小出>

スケジュールに示されている第2回当事者部会の内容として書かれている「計画素案」とは、どこで誰が作るものであるのか。

アンケート結果を基に6～8月の2か月間で当事者団体の中で計画について考えてくるのではないか。その後に次のステップに進むという流れではないのか。各ステップで団体に何を求めているか明確にしてほしい。

<事務局 久保田>

浜松市としては、7月の中旬には計画に関する骨子を各団体へ送付し、これに対する意見などを集約していただきたい。各団体で集約した意見を、8月の第2回の当事者部会で聴取したいと考えている。第2回当事者部会でいただいた意見などを基に計画案を浜松市で作成し、これを9月に送付するため、10月の第3回の当事者部会までに意見の集約をお願いしたい。第3回当事者部会にて聴取した意見をもとにパブリックコメントのための資料を作成し、12月にパブリックコメントを実施する。パブリックコメントで市民の皆様からの意見を受け、3月に最終計画の策定をする予定である。

<浜松市浜松手をつなぐ育成会 小出>

修正したスケジュールを再度送付していただきたい。

国からの次期障がい福祉計画では、「働く」ことが重要視されており、そのようなポイントについて、浜松市では実行可能であるか、どのように実行していくか、そして、障がい者を家族にもつ方の働き方の変化などを受けて、それらも加味しながら立案を行っていただきたい。

<事務局 久保田>

皆様の意見を取り入れて進めていきたいため、期間の短い中ではありますが、協力をお願いしたい。

国や県とも連携を取りながらより良い計画策定をしていこうと考えている。

(3) その他

事務局・柴田が資料を基に説明

<浜松ろうあ協会 伊藤>

一人暮らしについて、聴覚障害、視覚障害、知的障害などを有する方で、その方の親が高齢などで亡くなっているケースがあり、そのような方々に対する支援も考えていただきたい。

アンケートにおいて、「特別支援学校」という記載があるが、聴覚特別支援学校に関する設問が見当たらないが、あるのか。

<事務局 久保田>

「特別支援学校」には、視覚特別支援学校や聴覚特別支援学校などすべての特別支援学校をまとめて特別支援学校としているため、聴覚特別支援学校も含まれている。

<浜松ろうあ協会 伊藤>

「特別支援学校」の中にまとめすぎていて、その枝葉についてまで理解が出来なかった。

<事務局 久保田>

次回アンケートを取る際には検討していく。

<浜松市浜松手をつなぐ育成会 小田>

外出支援事業について、月7,000円の交付が、自動車税の減免を受けている人は無くなった。通学や通所、余暇活動などへの参加の交通費として、社会参加の促進をはかるため浜松市が長きにわたって行ってきた障がい者の外出に対する経済的な支援だったように思う。今回、必要な方に必要なサービスをとということで、これまで受けられなかった人が助成を受けられるようになったことはいいことだと思うが、自動車税の減免を受けている人が受けられなくなった。自動車税の減免と、外出支援は趣旨が違うと思う。助成が廃止されるまでにどの様な調査や試算があったのか疑問に思っている。より良い障がい者計画を作っていくと伺ったが、今回のように突然助成事業が無くなるような事があるのであれば、家計のためにも障がい者計画を立てる段階で教えていただきたい。

<事務局 久保田>

外出支援に関して様々な意見をいただいているが、障がい者計画は、サービス利用量など全体を見て立てていくものである。総体的に考え廃止する場合もある。こういうものが必要ではないかという意見も頂けたらありがたい。財政状況等により計画期間の途中で変更もあり得るため、計画に反映できない場合もあるが、可能な限り意に添えるような内容の障がい者計画にしていきたい。

<福祉を考える会 矢島>

障害者施策推進協議会のメンバーの選出の公募に関しての回答がなかったため回答をお願いしたい。障害者施策推進協議会のメンバーを選出する際には、様々な方からの選出の推進をして頂きたい。

<事務局 久保田>

今回の選出に関して、公募は行わなかった。

今後の選出に向けては、皆様の意見を聞き進めていきたい。

<浜松市浜松手をつなぐ育成会 伊藤>

計画素案の送付日程について教えていただきたい。

<事務局 久保田>

計画素案と併せて、スケジュールを修正して送付させていただく。

<事務局>

以上で本日の会議を終了する。

会議録を作成し、後日送付する。

今後、疑問に思う点等があれば、気軽に障害保健福祉課へ連絡いただきたい。